

美原区 区域まちづくり事業 効果検証シート

事業名称		実施主体			
美原区の魅力づくり推進事業		美原区役所企画総務課			
事業目的	事業効果	活動指標	H28	H29	H30
古代米を活用した農作業体験イベントや特産品の開発、PR活動などに区民協働で取り組み、美原区の特徴を活かした魅力あるまちづくりを推進する。	古代米や古代米を使った加工品を美原の特産品として広めることにより、「農業」と「歴史」という美原区の魅力を市内外へPRすることができる。また、黒姫山古墳周辺の水田で古代米を栽培することは、黒姫山古墳周辺地域(歴史ゾーン)の魅力創出につながる。	古代米プロジェクト 協力事業者数	23	28	35
		イベント(田植え体験、稲刈り体験)参加者数	200 (80+120)	84 (田植体験のみ)	128 (71+57)
①妥当性		②協働の視点		③インパクト	
○ 区民協働による農作業体験イベントや特産品開発などを通じて、美原区の特徴である「農業」と「歴史」を活かした魅力あるまちづくりを推進する本事業は、美原区まちづくりビジョンに沿った取組であり、行政が実施すべき事業である。	◎ 古代米の栽培は、区民によって立ち上げられた任意団体「美原の古代米プロダクツ」が行っており、農作業体験イベントも同団体が主体となって運営している。 また、特産品開発の依頼や協力事業者の開拓などは、区民と行政が協力して行っている。	◎ 黒姫山古墳の周りに古代米の水田が広がる情景は、風情を感じさせ、魅力創出につながる。 また、区民が育てた古代米や古代米を使った加工品を特産品として広くPRすることで、農業や歴史など美原区の魅力を発信できる。	○ 農作業体験イベントは区内外からたくさんの方が参加してくれるので、美原区の魅力効率よくたくさんの人にPRすることができる。また、古代米を栽培することは農地の有効活用につながるだけでなく、障害者支援施設に商品化作業をしてもらうことで、就労支援にも貢献できるなど、多方面に好影響を与えている。		
⑤自立発展性		総合評価			
◎ 協力事業者数は増えており、古代米に関する活動の輪は確実に広がっている。古代米の栽培や販売だけでなく、農作業体験イベントも区民が主体となって運営できるようになってきたので、今後さらに規模が拡大していけば、農業の活性化とともに自立発展する見込みがある。	◎ 区民が主体となって古代米をPRした結果、協力事業者の開拓につながり、古代米の販売や料理の提供、特産品の開発だけではなく、古代米のPRに協力してくれる事業者も増えた。 また、古代米作りの後継者育成を目的とした「みはら農業塾」には塾生として8人が参加するなど、古代米プロジェクトに関わる人の規模は順調に広がっている。さらに、商品化の作業を障害者支援施設に協力してもらうなど、就労支援にも貢献できている。				
拡充 継続 見直し 廃止	・協力事業者数も毎年増加しており、農作業体験イベントも引き続き多くの人に参加してもらっているなどの成果が挙げられていることから、継続して事業を実施していく。 ・区民によって立ち上げられて任意団体が中心となって活動しているが、さらなる事業発展を図り自立させるために、行政として協力事業者の開拓や後継者育成を支援する。				